



ヨルダン：内閣改造

3月2日、アブドゥラー国王はヌスール首相が提案した内閣改造人事を承認した。改造後のヌスール内閣の陣容は以下の通り。

氏名	役職	備考
アブドゥラー・ヌスール	首相兼国防相	変更なし。
ムハンマド・ズネイバート	副首相兼教育相	新たに副首相兼任。
ナーシル・ジャウダ	副首相兼外相	新たに副首相兼任。
フサイン・フザーウ・マジャーリー	内相	変更なし。
ウマイヤ・トゥーカーン	財務相	変更なし。
イブラーヒーム・サイフ	資源・鉱物相	計画・国際協力相から異動。
アフマド・ジャーダート	首相府相	変更なし。
ハーヅム・ナーシル	水・灌漑相	変更なし。
リーム・アブー・ハサーン	社会開発相	女性。変更なし。
ムハンマド・マウムニー	情報担当国務相	変更なし。
ワリード・ミスリー	地方自治相	変更なし。
ニダール・マルディー・カターマイン	労働相	観光・遺跡相との兼任解除。
アーキフ・ゾアビー	農業相	変更なし。
アリー・ナフラ・ハヤーサート	保健相	変更なし。
イマード・ファーフォーリー	計画・国際協力相	元閣僚。再入閣。
サーミー・ハルサ	公共事業・住宅相	変更なし。
サラーム・ナイーマート	国務相	変更なし。
ターヒル・シャフシール	環境相	変更なし。
ナーイフ・ファーズ	観光・遺跡相	元閣僚。再入閣。
ハイル・アブドゥルハフィーズ・ダーウド	ワクフ・イスラーム聖地相	変更なし。
ハーリド・カラールダ	政治・議会担当相	変更なし。
バッサム・タルフーニー	法相	変更なし。
マジド・シュワイカ	通信・情報技術相	女性。初入閣。
マハー・アブドゥルラヒーム・アリー	工業・商業・配給相	女性。初入閣。
ラーナー・ムハンマド・マームカグ	文化相	女性。変更なし。

リーナー・シャビーブ	運輸相	女性。変更なし。
ルバイブ・ハドラー	高等教育・科学研究相	初入閣。

評価

今回の人事での主な変更点は、副首相職が設けられ、ズナイバート教育相とジャウダ外相が副首相兼任となったこと、女性が新たに2名入閣し、女性閣僚が計5名に増加したことである。イラクやシリア情勢の悪化に伴い国際的な援助を必要とするヨルダンにとって、計画・国際協力相が交替したことに注目すべきかもしれないが、国防・内務・外務・財務のような重要閣僚には変更がなく、全般的に見所の乏しい人事といえよう。

3日付『シャルク・ル・アウサト』紙は、在任4年目を迎えるヌスール首相が「閣内に新しい血」を入れるための人事との見方を紹介している。また、同紙は議会筋の話として、最近ヨルダンの行政府と立法府との関係が悪化している中、この関係を変えるための人事とも思われるが、その効果は乏しく、重要性の低い内閣改造であるとの見解も伝えている。

(高岡上席研究員)

◎本「かわら版」の許可なき複製、転送、引用はご遠慮ください。

◎各種情報、お問い合わせは中東調査会 HP をご覧下さい。URL : <http://www.meij.or.jp/>